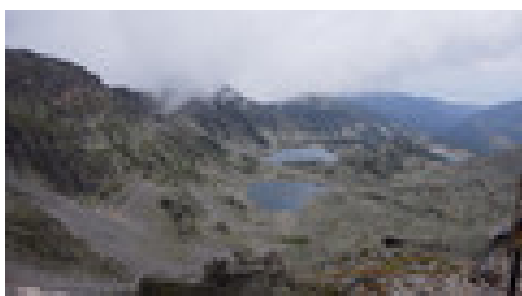


2016年08月10日

ブルガリアの山に登りました

日本で紹介され、ツアーでも登られているブルガリアの山は、リラ山脈とピリン山脈にある。リラ山脈のすぐ南にあるのがピリン山脈なので2つの山脈を訪れるのは手ごろであり、よく整備されている。今回初めて訪れたが、山登りはブルガリアでも大変人気であった。国旗を持参していることはその現れであろうと感じた。

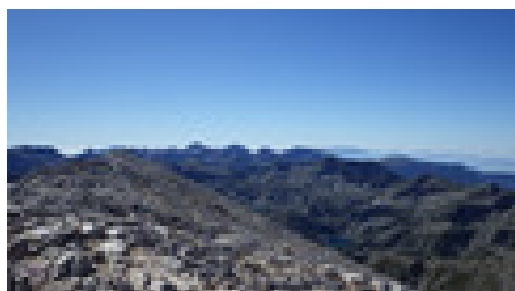


さて、国立公園に指定されているリラ山脈にはバルカン半島でもっとも高い山であるムサラ (2925 m.) があり、最も人気の山になっている。ネットの資料を参考にすると、リラという名前はトラキア人の由来で水豊かな山という意味があるとのこと。実際、行ってみると氷河湖が多いことに気づかされる。すべて合わせると 200 余りあるらしい。

リラ山脈のふもとには、世界文化遺産に登録されたリラ修道院がある。マリョヴィツァに登るときに、稜線から眼下に眺めたときは感動した。かなり山奥であるが、現在道路があって首都ソフィアから容易に行ける人気スポットである。但し路面状況は良くない。補修が間に合わないのであろう。9世紀当時は訪れるのも大変な秘寺であったのだろう。日本の密教文化の寺に通じるものがある。



さらに、マリョヴィツァ (2729m) の麓にひろがる7つ湖は素晴らしい。リラ山脈の氷河湖のなかでも最も美しい湖として人気がある。7つ湖を経由してマリョヴィツァに登れたことは、少し遠かったが大変よかった。リラ修道院へ下山すればなおよかったと思う。



一方、ピリン山脈は、リラ山脈のすぐ南にあり、ピリン国立公園に指定されている。ヴィフレン (2914m) はピリン山脈にある最高峰 (ブルガリアではリラ山域のムサラに次ぐ第2の高峰) である。大理石の山としてNHKでも放映され知られるようになった。